

ペット可物件の特徴

ペット承諾料



敷金1~2ヶ月が相場

ペット可物件かどうかは管理規約の定め次第。ペットの飼育を許可する代わりに承諾料として賃料を追加で支払う決まりになっている物件も少なくはない。

ペット向け設備



足洗い場 トイレスペース フローリング 壁紙

屋外に足洗い場や室内にトイレスペースといった設備面だけでなく、ペットに優しい建材を使うことも。クッション性が高くなりにくい床材や、防汚加工のある壁紙など。

近隣住民を噛む騒動も
ペットを飼っていてトラブルになってしまった経験を持つ人は14・6%。トラブルで最も多かったのは「壁紙やフローリングがボロボロになったこと」「鳴き声がうるさい」「他の住民を噛んだこと」。鳴き声がうるさいなどの騒動もあり、その結果から「ペットを捨てた」経験を持つ人が1・7%いた。また今不可物件に住む人が4・4%おり、ペットの鳴き声などで周囲に存在がバレた経験を持つ人も少くない。

KEYWORD3

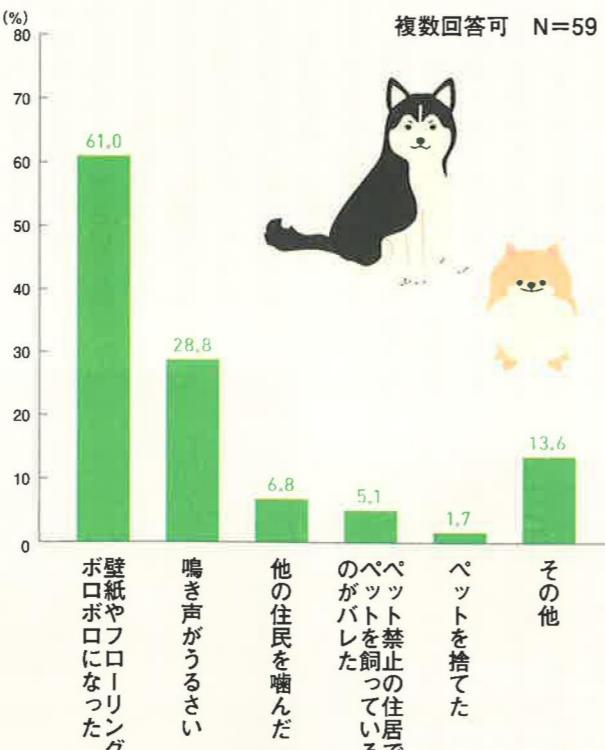
特定外来生物

本来、日本に生息していないカミツキガメなどの外来種や日本の生態系を壊す可能性のあるアライグマなどは飼育が禁止されている。



アライグマ飼育は禁止されている

Q トラブルの内容



出典: シースタイル

不動産関連の比較サイト「スマスター」を運営するシースタイル(東京都中央区)は、2017年8月3~30日の間、「スマスター」を利用した20代以上の男女に対し「住まいとペット」に関するインターネット調査を実施。全国1,097人から回答を得た。

データで見えた

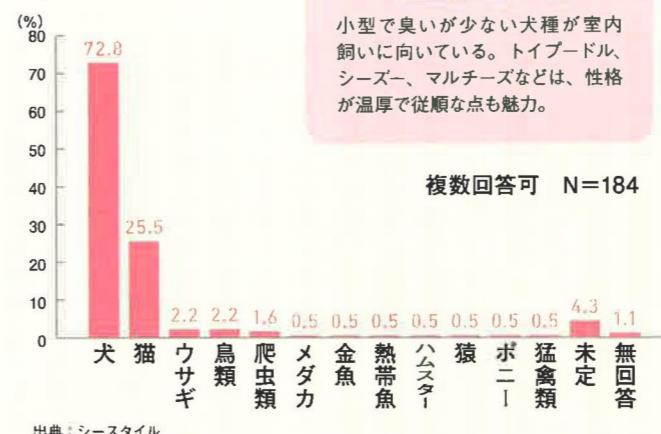
住まいとペットの実態調査

データ1

「犬」人気衰えず

現時点ではペットを飼っていないが「飼いたい」と考えている人は26・5%。そのうち68%は既婚者であるという。「飼いたいペット」の人気1位は「犬」で72・8%。以下ランキングは2位「猫」25・5%、3位「ウサギ」「鳥類」2・2%。このほか「猿」0・5%や「ボニー」0・5%の飼育に憧れる人もいるようだ。

Q 今後飼ってみたいペットの種類



KEYWORD1
室内犬

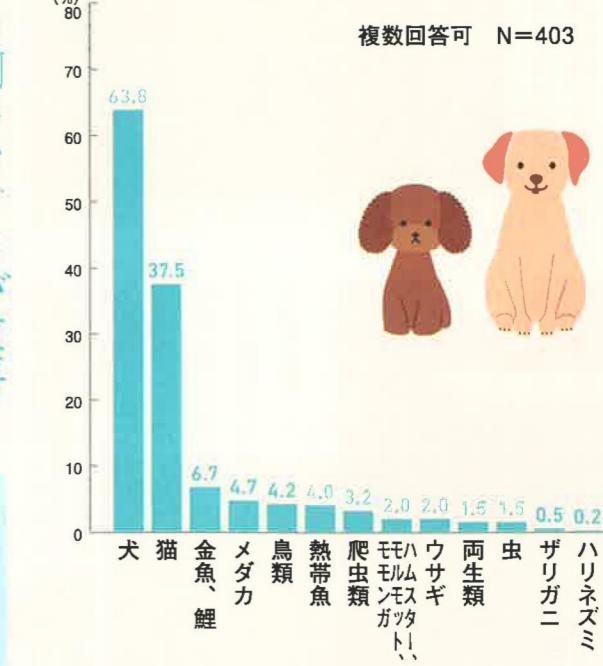
小型で臭いが少ない犬種が室内飼いに向いている。トイプードル、シーズー、マルチーズなどは、性格が温厚で従順な点も魅力。

複数回答可 N=184

出典: シースタイル

データ2

飼っているペットの種類



ペットを飼っている人の90・6%が室内で飼っていることがわかった。飼育数は、「1匹」55・8%、「2匹」23・1%、「3匹」7・7%、「4匹以上」という人も13・4%もいた。飼っているペットの種類としては、1位「犬」、2位「猫」と人気のツートップに次いで3位「金魚・鯉」、4位「メダカ」。水槽や鳥かご、小型のケージで飼育できるペットを選ぶ傾向が高いようだ。

KEYWORD2
ウサギ

これからペットを飼いたいという人のランキングで犬・猫に次ぐ人気はウサギ。鳴き声が小さく、散歩が不要なので飼いやすい。

出典: シースタイル

ペットが原因の住まいトラブル約15%